

コミュニケーション学部・フィリピンオンライン英語研修報告

研修先	本学協定校：エンデランカレッジ（フィリピン）とのオンラインレッスン
研修期間	2021年2月8日(月)～ 2月19日(金) (10日間)
参加者数	11名
研修目的	<ul style="list-style-type: none">・就活に向けて将来に向けて、自分が何をしたいのか、何をを目指したいのかをグローバルな視点から考える。・英語で考え、自信をもって英語で自分の意見を発信する力を養う。・海外の大学生との交流を通して、文化の違い、価値観の違い等を体験的に学ぶ。
研修の内容	<ul style="list-style-type: none">・1日4時間×10日間の短期集中で英語力の大幅な向上を目指す。・1日3時間のマンツーマン・レッスンと1時間のグループレッスンのハイブリッド型授業で実践的な英語力を身につける。・マンツーマンレッスンでは、日常で使うカジュアルな会話（2時間）とフォーマルなスピーチのための英語（1時間）を修得する。・グループレッスンでは、マンツーマン・レッスンで習得した英語を実際に使い、自信をもって英語で発信する。・Sustainabilityの授業では、フィリピンと日本の比較を中心に現代のグローバルな課題についてチームで議論し発表するなど、「自分の意見を述べる英語力」を修得する。・Global Leadershipの授業では、グローバル化する社会で求められるリーダーシップについて小グループで英語で議論し、就業意識を高める。・エンデラン・カレッジの学生と交流し、海外の大学生の多様な考え方や価値観を対話を通して理解する。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">・本当に先生が面白くて授業が楽しかったです。英語を喋っていて楽しいと思え、2週間が短く感じました。・日に日に先生の英語が理解できるようになっていっているという実感を持てるとても有意義な時間でした。・日本語を使えない環境に身を置いて他人とコミュニケーションをとることによって、どうやったら伝わるか、理解できるか、英語が上達するかを常に考えることができた。・日を追うごとに英語で話せるように、聴きとれるようになっていったと感じたのがとても嬉しかったです。・逃げ場がなく積極的に英語を使うことができたのは、マンツーマンのメリットだと思います。・オンラインだということで費用が手軽だったことが良かったと思います。現地に行くよりもハードルが低く、参加するかどうかを悩みませんでした。・対面時と遜色ない授業を受けることができ、オンライン環境下における先生と生徒がすぐろくの盤面を共有し、それぞれがコマを動かしてすぐろくなどを行うことができた。・現地に行かなくても家で英会話をできた為、お金の問題などを気にせず手軽に学べたことが良かったです。・マンツーマン授業の時間のほうが多かったため、「わからないときの質問の仕方」「リアクションの仕方」などを身につけることができました。・この研修に参加して自分のレベルやペースに合ったカリキュラムで指導していただいたので、英語を楽しく学ぶことができ、毎回のレッスンがとても楽しかったです。・この研修を機に自分の苦手なところや海外の先生とのコミュニケーションで異文化について発見、学ぶことができ、とても参加して良かったと思える二週間でした。・スピーチをする際に重要な点など、すべて英語ではありましたが、日を追うごとにその英語も理解できるようになり、とても役立つものだと感じました。・これまで習った英語を使って話し合い、お互いに意見や考えを共有、まとめられた時はお互いに達成感があり、自然と距離が縮まったように感じました。・自分の伝えたいことをうまく伝えられないというもどかしさも感じました。ただグループレッスンも日を追うごとに英語で話せるように、聴きとれるようになっていったと感じたのがとても嬉しかったです。・最終日には現地の学生とコミュニケーションを取ることができ、フィリピンについてより詳しく知ることができました。・世界共通で求められる態度をフィリピンと日本それぞれの文化に当てはめて考えることが多かったので、2つの文化の違いがより鮮明になり、英語で様々な知見を得ることができました。・授業ごとの教室移動がないため、時間ギリギリまで授業を受けることができるのも良かった。・日本語で行う日本の授業と遜色ないレベルの内容を英語で行うのは難しかったのですが、自分の英語スキルをより向上させなければいけないと気付かされるきっかけになりました。・マンツーマンだけでなくグループ授業もあったことで双方の良い所を2週間でみっちり吸収することができた。・とにかく楽しかったこと、そして英語を惜しみなく話せたこと、本当に良かったと思います。ただ、授業内でフィリピン料理の話などが出ると、「本当だったら食べれてのになあ」と思いました。来年はぜひ現地に行って英語を学べればと思います。

※本アンケートは2020年度トランスコスモス財団の調査研究助成の対象に選定されております。